

# 山行報告書

日時	2019年12月21日(土)～24日(火)		天候	曇り
山名	西穂独標 高山 白川郷 五箇山			
CL	岳龍	参加者	sachan(SL) yoyo (観光) ニイちゃん m川	
(コース)	<p>21日 博多駅6:10=9:30名古屋9:39=12:23高山=新穂高ロープウエー…西穂山荘 22日 JR西穂高山荘7:30…西穂独標…11:30西穂高山荘12:30…新穂高ロープウエー=新穂高=高山泊</p> <p>23日 高山12:20=白川郷泊</p> <p>24日 白川郷9:15=五箇山=新高岡14:26=金沢=京都=20:07福岡</p>			
(コメント)	<p>新穂高ロープウエーを降りると一面銀世界、西穂高山荘に到着は暗くなっていた。クリスマスパーティーはワインを一本空けた者もいた、吉永は酒900円を2合、部屋は暑いほどだった。翌朝7時30分に出発、風もなく焼岳、乗鞍岳が目の前だ、遠く白山、富士山が美しい、独標直下は雪が少なくピッケルが効かず緊張するが全員登頂できた。やや渋滞で慎重に下山したので山荘には1時間の遅れで終了することができた。高山の「宝生閣」は ゆこゆこ で予約したので安く、立派な旅館だった。翌日目が覚めると雪が積もっており白川郷に期待する、合掌造りの囲炉裏のある広間では我々日本人3人、カナダ2人、オーストラリア2人、タイ3人は日本酒で盛り上がり新野さんの指導で炭坑節を全員で踊った、白川郷は雪はなかったがそれ以上に交流を深めた、最終日の五箇山は早朝でもあり静で白川郷よりお勧めだ、民宿「与茂四郎」0763-66-2377は元職場の山岳部の方が40年前に嫁いだ先で福岡から来たとテレビで放映され地元では皆んな知っている、又行って今度は泊まりたい。五箇山に押し掛け女房雪囲い 岳龍</p> <p>初めての冬の西穂高独標。天気に恵まれ、風もそう強くはなく無事登ることができました。今年は雪が少なく、独標直下の岩はアイゼンが効かず、危険を感じるがありました。独標からの眺望は絶景で、すぐ間近かに西穂高や前穂が見え感激でいっぱいでした。独標がら西穂までは危険が多く厳しいかなと思いますが、憧れます。今回リーダーの吉永さんお疲れさまでした。ありがとうございました。また徳永さん、ご一緒していただきありがとうございました。山も宴会の楽しかったです。またよろしく願います。記 大久保</p> <p>私は膝の調子が悪いため、高山市の古い町並や歴史的建造物を散策して西穂に登ったメンバーを待ちました。22日無事下山したメンバーと合流して初日は宝生閣【5人】翌日は白川郷の孫右衛門【3人】に宿泊しました。最後の宿では外国人ばかりで緊張しましたが、なんとか日本の文化伝えたくて(笑)炭坑節を伝授しました。楽しいひと時が旅の締めくくりとなり嬉しかったです。今回気のおけるメンバーと久しぶりにご一緒させていただき、リーダーはじめ皆さん本当に有難うございました。記 新野</p> <p>6年ぶりの冬の雪山でした。ピッケルを打ち付けながら登ったのは初めての経験。今迄ピッケルは私にとって雪山に似合う飾りのような物だったみたい。怖かったけど独標まで何とか辿り着けました。山小屋でのクリスマスイベントでは大盛り上がり。白川郷は外人だらけで、比べると五箇山は人も少なかつたせいか山合いに佇むシットリとした雰囲気がとても風情を感じさせていました。山はソコソコ。観光一杯こんなのも良いですね。皆様、お世話になり有難うございました。 yoyo</p>			
費用概算	(交通費/人)	TR 4万円	バス・他	1万円
	(その他/人)	小屋・旅館	4万円	



独標



西穂高 ピラミッドピーク 独標



白川郷 炭坑節